



「1学期教育活動アンケート」の数値結果についてお知らせします

7月に実施した「教育活動アンケート」への御協力ありがとうございました。調査結果をまとめたので御報告します。

【数値結果】

	調査項目	対象	R3/7	R3/12	R4/7
1	学校が楽しい	児童	65	67	70
		保護者	54	61	58
2	みんなで何かするのは楽しい	児童	79	81	81
		保護者	62	68	68
3	授業に主体的に取り組んでいる	児童	58	50	60
		保護者	28	30	34
4	授業がよく分かる	児童	58	58	58
		保護者	24	27	22
5	友達と関わりながら授業に参加している	児童	72	68	72
		保護者	40	40	40
6	先生や友達の話をしっかり聞いている	児童	69	73	74
		保護者	34	36	35
7	先生や友達に自分の考えを伝えている	児童	/	/	58
		保護者			23
8	自分にはよいところがあります	児童	60	59	61
		保護者	41	42	29
9	友達のよいところを知っている	児童	80	81	78
		保護者	54	58	45
10	思いやりの気持ちをもって生活している	児童	66	69	65
		保護者	45	49	46
11	学校のきまりを守って生活している	児童	66	65	72
		保護者	54	57	53
12	体を動かすことが楽しい	児童	78	80	78
		保護者	65	64	65
13	食べ物に興味を持って給食を食べている	児童	/	/	58
		保護者			42
14	安全に登下校できるように気を付けている	児童	79	81	81
		保護者	53	55	49
15	学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている	児童	79	81	77
		保護者	32	33	32
16	自分のよいところやがんばっていることを、先生はほめたり認めたりしてくれる	児童	66	65	63
		保護者	48	49	45
17	家庭学習に自分から取り組んでいる	児童	55	51	55
		保護者	28	28	32
18	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	児童	54	53	61
		保護者	38	38	40
19	家の人と将来のことについて話すことがある	児童	49	46	55
		保護者	44	43	42
20	学校に信頼できる先生がいる	児童	79	78	77
		保護者	42	51	42

【分析考察】

＜数値が高かった項目＞

児童 保護者

2	みんなで何かするのは楽しい	81	68
14	安全に登下校できるように気を付けている	81	
9	友達のよいところを知っている	78	
12	体を動かすことが楽しい	78	65
15	学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている	77	
20	学校に信頼できる先生がいる	77	

＜数値が特に上昇した項目＞

児童 保護者

3	授業に主体的に取り組んでいる	10P	
19	家の人と将来のことについて話すことがある	9P	
18	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	8P	
11	学校のきまりを守って生活している	7P	

＜数値が低かった項目＞

児童 保護者

17	家庭学習に自分から取り組んでいる	55	32
19	家の人と将来のことについて話すことがある	55	
4	授業がよく分かる	58	22
7	先生や友達に自分の考えを伝えている	58	23
13	食べ物に興味を持って給食を食べている	58	

＜数値が特に下降した項目＞

児童 保護者

8	自分にはよいところがあります		13P
9	友達のよいところを知っている		13P
20	学校に信頼できる先生がいる		9P

「楽しさ」や「きまり・安全」、子供と教師の「信頼関係」は、学校教育を進めていく上での基盤です。1000名の子供たちが落ち着いて意欲的に生活できていることが、数値としても表れました。

依然として感染状況が不安定であり、大規模校としても様々な制約がある中において、学習活動や学校行事を通して、子供たちが「協働」する経験を積むことができるように、創意工夫していきたいと思えます。

授業への「主体性」が高まっています。思わず考えたくなる学習課題や、タブレットの効果的な活用を重点として、授業改善に取り組んでいきます。

家庭での「対話」が増えていることに感謝申し上げます。家庭と学校がさらに連携を図っていけるよう、御協力をお願いいたします。

保護者の皆様から見て、お子さんが自分や友達の「よさ」を見つめる姿が少なくなっていると感じられる要因として、教師が子供たちに「よさ」を価値付けする機会が不足してきているのではないかと。それが、教師への「信頼」にもつながると反省いたしました。

あやぐも学園（袋井中学校区）では、子供たちの思いを「聴く」こと、努力する姿を認める「ボイスシャワー」を行うことを重点としています。

子供たち一人一人の様子に目を行き届かせて、授業が「理解」できているか、自分の思いや考えを「伝え」られているかと、心の声を「傾聴」するとともに、「よさ」を価値付けする「ボイスシャワー」に立ち還っていきたいと思えます。

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

本校児童は、この「教育活動アンケート」においても、全国学力調査の「学習状況調査」においても、回答の数値が高い傾向にあります。前向きに意欲的に学校生活を送れている児童が多いことをうれしく思います。上記の分析考察をもとに改善を行い、2学期の教育活動に生かして参りたいと思えます。